



南アフリカ出身アーティスト Lebo Tladi（レボ・トラディ）氏が描く 動物絵画展「bophelo（ボペロ） - いのちの祝福 - 」開催

2025年9月4日（木）～2025年11月30日（日）



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）は、2025年9月4日（木）から2025年11月30日（日）までの期間、南アフリカ出身で白浜町在住のアーティスト Lebo Tladi氏 による動物絵画展「bophelo - いのちの祝福 -」をパーク内 ふれあいの里にて開催いたします。

「bophelo」とは、レボ氏のルーツである南アフリカの公用語で“いのち”を意味します。本展では、動物の赤ちゃんをテーマにした絵画作品を通じて、「いのちの美しさに気づく体験」をお届けいたします。

絵画展「bophelo - いのちの祝福 -」について

■展示期間

2025年9月4日（木）～2025年11月30日（日）

※以下の日程は観覧時間・条件が異なります。

9月6日（土）、10月11日（土）、11月15日（土）・・・会場都合により、午後1時からご覧いただけます。

10月18日（土）・・・会場都合により、終日ご覧いただけません。

11月2日（日）雨天の場合・・・会場都合により、ご覧いただけません。

■展示場所

アドベンチャーワールド内「ふれあいの里」

■展示内容

原画5点・レプリカ10点（計15点）、バナー・タペストリー・会場演出（BGM・映像）などにより没入感ある空間を演出します。

■料金

無料 ※別途入園料金が必要です。

展示タイトル「bophelo」に込められた想い

「bophelo（ボペロ）」とは、「いのち」を意味する言葉で、南アフリカの11の公用語のうちの3つ、セペディ語・ソト語・ツワナ語で使われています。このタイトルには、国や文化を超えて「いのち」について考え、気づきを得るきっかけとなるように、という想いが込められています。アドベンチャーワールドの想い『いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。』と深く響き合う展示会です。



【アーティスト紹介】

Lebo Tladi（レボ・トラディ）氏

1994年南アフリカ生まれ、現在は和歌山県白浜町在住のアーティスト。グラフィックデザインを学び、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）を通じて来日後、2024年に独立し地域に根ざした創作活動を始めました。

作品テーマは「赤ちゃん動物」。無垢さや好奇心、未来への希望を象徴する存在として描き、見る人に“いのちの美しさ”を伝えることを目指しています。代表作「Young Ones」シリーズでは、世界中の赤ちゃん動物を題材に、その愛らしさと大切さを表現しています。

幼少期から動物に囲まれて育った経験から、「動物は国や文化を超えて人々をつなぐ存在」という想いをもち続けています。アートを通じて、人と人、そして人と自然を結びつけることをライフワークとしています。



■原画作品（一部）



Baby Lesser Panda



Baby California Sea Lion



Baby Sloth